

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者[※]の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

慢性アレルギー性角結膜疾患における視力と疾患重症度との関係性の解明

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 眼科 (研究責任者) 山上 聡

＜研究期間＞

承認日 ~ 令和 6 (西暦 2025) 年 3 月 31 日

＜対象となる方＞

西暦 2015 年 1 月 1 日 ~ 西暦 2024 年 12 月 31 日の期間に春季カタルまたはアトピー性角結膜炎で眼科受診をされた方

＜研究の目的＞

春季カタルおよびアトピー性角結膜炎の代表される重症慢性アレルギー性結膜疾患は、角膜炎を併発することで、視力障害を引き起こすとともに、角膜炎治癒後の混濁もしくは変形した角膜病巣は、角膜の透明度低下や角膜乱視などにより視力予後に影響をおよぼします。慢性アレルギー性角結膜炎の治療を進めていく上で、視力の管理はアレルギー炎症に対する治療と並んで重要な治療課題になっています。今回の研究では、春季カタルまたはアトピー性角結膜炎患者様に発症する角結膜病変の重症度が視力に与える影響を調査することが目的です。

＜研究の方法＞

今回の研究では、電子カルテの診療録を使って、診察時の得られた春季カタルまたはアトピー性角結膜炎に関連する臨床所見、アレルギー検査結果ならびに視力、屈折、角膜形状解析の検査結果を調査します。この研究により、視力矯正に関する問題点が洗い出され、将来の視力に関する治療の向上に役立ちます。診療録から得られたデータを使って、統計学的に疾患重症度と視力との関係を検討します。診療録から得られたデータは匿名化されており、個人情報が十分に管理された環境下で解析が進められます。

<研究に用いる試料・情報の項目>

診療録に記載されている下記の所見、検査結果、検査画像について調査します。

- 1) 病名
- 2) 外眼部所見および前眼部写真
- 3) 眼科一般検査：視力検査・屈折検査・眼圧検査
- 4) 角膜形状解析
- 5) アレルギー検査：涙液総 IgE・血清中抗原特異的 IgE 抗体価
- 6) 使用中の治療薬およびステロイド結膜下注射施行の有無

<外部への試料・情報の提供の方法>

外部への試料・情報の提供はありません

<お問い合わせ窓口>

研究責任者 眼科 山上 聡
〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1 日本大学医学部附属板橋病院 眼科
03-3972-8111 (内線 2531)